

日本栄養・食糧学会中部支部 平成 21 年度 総会 議事録

日時 平成 21 年 11 月 14 日（土）12：50 から 13：20 まで
場所 名古屋大学大学院生命農学研究科第 3 講義室
書記 早瀬和利

I 審議事項

1. 平成 20 年度 事業報告（代理 早瀬 支部長）

平成 20 年度事業報告が承認された。

2. 平成 20 年度 会計報告（会計代理 早瀬 支部長）

3. 平成 20 年度 会計監査報告（監事代理 早瀬 支部長）

平成 20 年度会計報告ならびに監査報告が承認された。

4. 中部支部細則の一部改正（早瀬 支部長）

学会細則の改正により、各支部に副支部長をおくよう定められたため、支部細則の第 5、6 項への「副支部長」の追加と第 11 項の削除、付則の 4 項の変更が承認された。

5. 平成 21 年度 副支部長の選出（早瀬 支部長）

平成 21 年度中部支部副支部長が承認された。

6. 平成 22・23 年度 支部役員の選出（早瀬 支部長）

平成 22・23 年度の支部長、副支部長、監事、庶務幹事、会計幹事の事務局体制と支部評議員 67 名、特別会員 13 社が承認された。新任の支部評議員は 5 名である。

7. 平成 22 年度 事業計画（代理 早瀬 支部長）

平成 22 年度は、支部大会 2 回、支部評議員会 2 回行うことが承認された。

8. 平成 22 年度 予算

平成 22 年度予算が承認された。平成 21 年度からの主な変更点は次の通り

- ・ 「収入の部・補助金収入・学会本部補助金」

平成 21 年度実績とする。

- ・ 「支出の部・管理費・広報活動費」

今年度、外部業者に依頼し、支部の HP をリニューアルし、次期支部事務局で

も継続して使用できるよう環境整備を行った。次年度からの、HP の維持経費として、年間 9 万円前後が見込まれ、広報活動費として 10 万円計上した。

II 報告事項

1. 平成 21 年度 事業計画（代理 早瀬 支部長）

資料にもとづき平成 21 年度事業計画が説明された。概要は、平成 20 年度支部総会（平成 20 年 11 月 15 日開催）ですでに承認されたものである。

2. 平成 21 年度 予算（会計代理 早瀬 支部長）

資料にもとづき平成 21 年度予算が説明された。概要は、平成 20 年度支部総会（平成 20 年 11 月 15 日開催）ですでに承認されたものである。

3. 平成 22・23 年度 支部選出理事候補者の選出（岸 選挙管理委員長）

支部正会員による選挙を実施し、平成 22・23 年度の支部選出理事候補者 2 名を選出したことが報告された。

4. 平成 22・23 年度 本部評議員・参与候補者の選出（早瀬 支部長）

資料に基づき平成 22・23 年度の 18 名の本部評議員、16 名の本部参与の候補者が報告された。

5. 理事会報告（杉山 理事）

新しくリニューアルした学会 HP にアクセスしていただき、名簿情報の開示・非開示の設定をいただきたい旨案内があった。もし、開示・非開示の意思表示がない場合は、他の会員の情報もご覧になれないことが併せて紹介された。

日本が 2015 年アジア栄養学会議の開催地に決定し、開催地はパシフィコ横浜であることが報告された。

国際栄養学連合(IUNS)の理事会で、IUNS Fellow に、板倉弘重氏、野口 忠氏が選ばれたことが報告された。

本学会を新公益法人に移行するため、22 年度の総会で新定款（案）を審議できるよう準備中であることの案内があった。

22 年度、徳島で開催予定の第 64 回大会の準備状況は順調に推移していることが紹介された。